

さいたま市麻疹週報

令和元年第 38 週(9 月 16 日～9 月 22 日)

麻疹患者の報告が 1 人(病型:検査診断例、推定感染地域:国内)ありました。詳細情報は、市ホームページに掲載している「[\(令和元年 9 月 19 日記者発表\)麻疹\(はしか\)患者の発生に伴う注意喚起](#)」をご覧ください。

2019 年第 1 週から第 38 週までの麻疹累積報告数は 4 人です。

麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。感染すると潜伏期(10～12 日間)の後、38 度台の発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3 日熱が続いた後、39 度以上の高熱と発疹が現れます。肺炎や脳炎などを合併して、重症化することもあります。

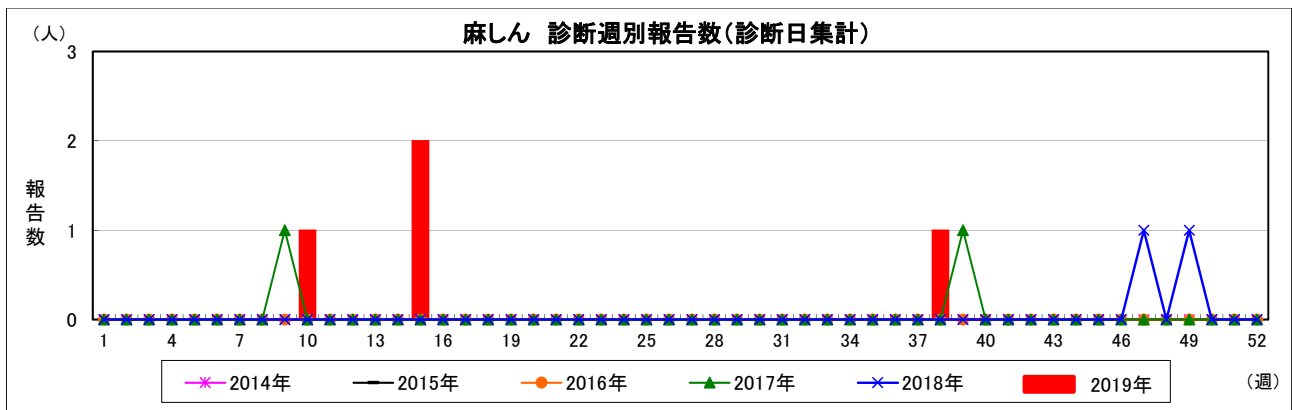
症状などの詳細は、市感染症情報センターホームページ「[麻疹\(はしか\)](#)」をご覧ください。

◆第 38 週の麻疹報告状況

診断週	診断日	発病日	年齢(歳)	病型	予防接種歴	推定感染地域
第38週	9月17日	9月11日	35～39	検査診断例	有(1回)	国内

※「検査診断例」とは、届出に必要な臨床症状の3つ(①麻疹に特徴的な発疹、②発熱、③咳嗽、鼻汁、結膜充血などのカタル症状)を全て満たし、かつ、PCR 検査や抗体検出などの病原体検査が陽性のもの。

◆報告状況のグラフ



◆さいたま市の麻疹報告数(取り下げ例を除く)

2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
90	5	5	5	2	0	0	0	0	2	2	4

※麻疹は 2007 年に 10 歳代を中心に流行し、2008 年から全数把握対象疾患となりました。

日本は麻疹の排除状態にありますが、海外からの麻疹輸入例は継続して報告されています。海外旅行等で流行地へ渡航される方は、自身のワクチン接種歴をご確認いただき、未接種の場合は、ワクチン接種をご検討下さい。

※医療機関におかれましては、二次感染防止のための院内感染対策の徹底が重要となります。国立感染症研究所で「[医療機関での麻疹対応ガイドライン第七版](#)」を作成していますので、ご参照ください。